

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
**2024 年度 教育改革事務部門管理者会議オンライン**  
**開催要項**

(<https://www.juce.jp/LINK/jimubumon/2024/>)

日 程：令和 6 年 10 月 31 日(木) 13:00~17:00

配信会場：アルカディア市ヶ谷(東京、私学会館)から Zoom 配信

## 1. 開催趣旨

急速な少子化が進行する中で大学の存在価値が問われており、「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」で指摘の通り、学修者本位の教育の実現が急がれています。学生の声をデータ化し点検・評価を行い、内部質保証の仕組みとして学修の質を如何に高めていくか、大学執行部による先導性、実行性が期待されています。

そこで本会議では、将来社会を見据えた高等教育の在り方の観点から、大学としてどのように変革に向き合うべきか考察します。学生目線によるエビデンスのデータ(文部科学省「全国学生調査」試行結果)による教育改善の課題を共有するとともに、学修支援 DX、業務改革 DX に向けた取り組みについて、理解を共有し、改革行動実現への認識を深める機会としました。

## 2. プログラム

13:00 開会挨拶 向 殿 政 男 氏 (私立大学情報教育協会会長)

13:05 講 演： **急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方**

グランドデザイン答申で学修者本位の教育の実現に向けた取り組みが進展しつつある中、これからの時代を担う人材に必要とされる資質・能力の育成に向けた高等教育機関の役割一層の発揮のために、今後さらに取り組むべき人材の育成や教育改革などの具体的方策、地域における質の高い高等教育へのアクセス確保の在り方、設置者別役割分担の在り方、高等教育の改革を支える支援方策の在り方などについて紹介いただきます。

講 師：高見 英樹氏 (文部科学省高等教育局企画官 (併) 高等教育企画課高等教育政策室長)

13:40 講 演： **令和 4 年度「全国学生調査(第 3 回試行実施)」の結果と本格実施に向けた計画**

「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」での学修者本位の教育への転換の一環として、学生目線で大学教育の取り組みについて点検する試行の結果と、4 回試行実施に向けた改善と本格実施に向けた計画等について、紹介いただきます。

講 師：高見 英樹氏 (文部科学省高等教育局企画官 (併) 高等教育企画課高等教育政策室長)

14:15 休 憩

14:20 講 演： **大学執行部の強い方針で「未来の自分」を可視化、個別最適な学生支援を実現**

「DX 推進会議」を中心とした集中型の執行体制を基本としつつ、各部署が主体的に DX を推進しています。LMS(学修支援システム)に学修履歴を把握する授業動画配信機能を連環させて、学修履歴、視聴ログ等の可視化されたエビデンスに基づく総合的な学生支援を行い、学生自身の「今の学び」への動機付け等を支援する学修環境の再構築と、キャリア支援システムのポートフォリオ通じて「未来の自分」を考える取り組みと展望を紹介いただきます。

講 師：岡田 忠克氏 (関西大学人間健康学部教授)

14:55 講 演： **デジタルツールを活用した発注・出金業務のペーパーレス化・効率化**

学園のミッション実現に向け、法人業務(財務/人事/総務)の抜本的な見直しを検討し、新たなデジタルツールの活用をトリガーとして、購買や支払業務の工数を削減するとともにペーパーレス化を実現する取り組みを紹介いただきます。

講 師：野口 公彦氏 (学校法人立命館財務部財務経理課長)

15:30 講 演： **生成 AI 搭載の ICT ヘルプデスクチャットボットの導入と展望**

ICT ヘルプデスクに生成 AI を搭載したチャットボットを導入し、業務の効率化とサービス品質の向上を実現しています。導入の背景やプロセス、運用方法のポイントなど、AI 技術を活用した今後の展望について詳述し、生成 AI を活用したことにより判明した課題も紹介いただきます。

講 師：菅原 大嗣氏 (武蔵野大学 DX・システム部 DX 戦略企画課長)

八幡 健司氏 (武蔵野大学 DX・システム部教育 DX 支援課長)

16:00 関連情報の提供

※ **加盟校における個人情報保護法対応アンケート結果の報告**

堀部 政男氏 (電子著作物等利用推進委員会外「バ」イ、一橋大学名誉教授)

※ **令和 5 年度加盟校における教育への情報化投資の実態報告**

(私情協事務局)

17:00 閉 会

